Soroptimist International of Kumamoto　がんばろう熊本!

国際ソロプチミスト熊本

広報誌　2015年7月▶2016年6月

会長挨拶

SI熊本会長　牧野　智子

国際ソロプチミスト(SI)は、「女性と女児の生活の向上」を目指して世界中で活動を行っている、女性のボランティア団体です。SI熊本は、市内4クラブ県内9クラブのうち最初に誕生したクラブで、今期で37年目を迎えます。

私達のクラブは、独自のプロジェクトとしてSI熊本「夢を生きる就学援助」を行っています。6年目となり、これまで27名の女子高校生が夢を生きるために大学や専門学校へ進学するお手伝いをさせて頂きました。もう夢を実現した人もいますし、夢に向かって頑張っている人もいます。大変嬉しいことです。

この為のチャリティー事業として、今年4月10日に県立劇場コンサートホールに於いて「レジェンド　コンサート」を開催しました。このチャリティーにご協力頂いた約1,200名の皆様とステージが一体となり、スタンディングオベーションで終わる心に残るコンサートとなりました。

その他の活動として、素晴らしいボランティア活動を行っている方々を顕彰することや、長年にわたる「再春荘つくし病棟」訪問、また、タイ・アユタヤの養護施設の支援なども行っています。

レジェンドによるチャリティーコンサートの感動も冷めやらない4月14日、熊本地震が発生し、県民の大半が被災者となりました。ソロプチミストとしてこの困難をどう乗り切り、復興に向けて何ができるのかが、今後の私達の課題です。これまでに頂いたご支援に心より感謝し、皆様とともに私達にできることに取り組み、活動を進めてまいります。

次期会長抱負

次期会長　牛島　紀子

まさかの「熊本地震」を経験した今、国際ソロプチミスト熊本にとっては、女性と女児のために何をすべきかが問われています。「被災された熊本の女性と女児のために」必要とされる支援活動を模索し実行していくことが課せられたこの時期に、会長として就任し、身の引締まる思いであります。

今こそ、国際ソロプチミストの活動がなくてはならない存在として認識していただけますよう、会員一同、郷土のため全力を挙げて取り組んでまいりたいと思います。そのためには、皆様の更なるご支援をいただけますようにお願い申し上げます。

女性と女児のために

SI熊本「夢を生きる就学援助」

SI熊本「夢を生きる就学援助」は自分自身の将来の夢(職業)を実現するために、大学、短期大学、専門学校への進学を希望している熊本市内の女子高校生を対象に、入学時に経済的支援を行うプロジェクトです。過去5年間の活動がSIA(国際ソロプチミストアメリカ連盟)の「成功を祝うソロプチミスト賞」プログラム分野で南リジョン賞最優秀賞に選ばれました。5年間に22名の女子高校生を援助することができ、そのうち18名は母子家庭でした。厳しい経済環境にある母子家庭の母親と娘、すなわちSIAの活動対象である「女性と女児」双方を援助し、女児のエンパワーを助けたことが選ばれた理由でしょう。

6年目になる今年も5名の女子高校生に各20万円を贈呈しました。市内全ての高校29校に募集要綱を送付し、12名の応募がありました。以下の方々が選ばれ、「レジェンド」のチャリティーコンサートの舞台で贈呈式が行われました。これから自分の夢をかなえ、羽ばたいていかれますよう願っています。

＊税理士になりたい	熊本県立熊本商業高等学校	Mさん
＊公務員になりたい	熊本県立熊本西高等学校	Uさん
＊新幹線パーサーになりたい	熊本市立千原台高等学校	Hさん
＊栄養士になりたい	慶誠高等学校	Tさん
＊パン職人になりたい	熊本県立熊本農業高等学校	Iさん

私たちの活動をホームページでご覧下さい
http://www.si-kumamoto.org/

国際ソロプチミスト熊本　検　索

国際ソロプチミストアメリカ日本南リジョン
第30回 リジョン大会

2016年4月14日(木)～15日(金)
ヒルトン福岡シーホーク(福岡市)(出席者22名)

14日夜の熊本地震のため、15日の大会日程を短縮するという異例の大会となりました。SI熊本の出席者は15日の大会の参加を取りやめ、急遽熊本に戻りました。

この大会で、2016-2018年期リジョン理事会メンバーにSI熊本から井上真智子会員がセクレタリーとして選出されました。また、認証30年以上の33クラブのひとつとして当クラブが永年クラブ表彰を、「夢を生きる就学援助」が「成功を祝うソロプチミスト賞」南リジョン最優秀賞を、金井朋子会員がスリーメンバーズピンを受賞しました。

SI熊本「夢を生きる就学援助」が成功を祝うソロプチミスト賞 南リジョン賞 最優秀賞受賞!

過去5年間の活動がSIA(国際ソロプチミストアメリカ連盟)の「成功を祝うソロプチミスト賞」プログラム分野で南リジョン賞最優秀賞に選ばれました。

2015 日本南リジョン ガールズカンファレンス

H27年8月6日、7日の2日間にわたり、南リジョン ガールズカンファレンスがKKRホテル博多(福岡市)にて開催されました。

このカンファレンスは、女子高校生達が未来を形作り仲間と友情を築き、リーダーシップを育成することを目指して開催されました。当クラブは担当クラブとして熊本市で選ばれた4名の女子高校生を引率しました。

初めに、異なる職業に就かれている3名の女性が、職業選択の過程や仕事における困難をどう乗り越えたかの経験談を話され、その後、目指す職業別に8グループに分かれてのディスカッションが行われました。当クラブ推薦の福田祥子さん(文徳高校)も活発に意見を述べ、リーダーシップを発揮していました。最後にグループ毎にまとめを発表し、生徒達が将来の目標やそのための道筋を明確に意識できたことが示されました。

第8回『夢を生きる』アートコンテスト

テーマ「お手本にしている女性は誰ですか?」

熊本市内のすべての小中高等学校へ募集要項を送付し、熊本高校、第二高校、かっぱ保育園から応募があり、アメリカ連盟に送りました。4月10日のレジェンドコンサート会場で展示して、ご来場の皆様に見ていただきました。

2015年度 顕彰事業(クラブ賞)

●夢を生きる賞 受賞者:中田 梢様

子育てをし、一家の家計を支えながら、高校時代からの夢でもあった看護師資格取得に向け、患者と家族に心から信頼されるナースを目指し日夜研鑽しています。

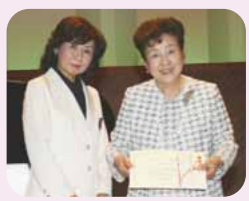
●社会ボランティア賞 受賞者:市民団体 コムスタカ様

30年にわたり、外国人の人権を守る「コムスタカー外国人と共に生きる会」を運営し、雇用、社会保障、家族関係、人身売買被害者の救済などの多岐にわたる問題を当事者とともに解決する努力をしています。

●女性栄誉賞 受賞者:谷脇 ユミ子様

女性管理職の先駆けとして熊本の経済界を牽引する傍ら、幅広い分野での社会的活躍を継続しています。複数のボランティア団体の役職も歴任し、現在は後進の育成に力を注いでいます。

谷脇様は、SI熊本の設立にも携わり、SIA日本南リジョンのガバナーやソロプチミスト日本財団の監事を歴任された大先輩です。



牧野会長(左)とともに

奉仕プログラム委員会

今期も以下の活動を通して素敵な出会いに恵まれました。

- 支援金贈呈:SI熊本「夢を生きる就学援助」
- SIA顕彰事業:「夢を生きる賞」「女性栄誉賞」
- 地域社会奉仕:再春荘つくし病棟訪問奉仕・SI熊本DV被害者支援基金
- 国際支援:タイアユタヤワットサーケオ養護施設支援・ハビタットいのちの水募金協力

財務・資金調達委員会

会員の協力で、クラブ内オークション、お取り寄せ、シクラメン販売を行い、活動資金調達に貢献できました。一層のご協力をお願いします。

メンバーシップ委員会

9月例会の卓話に木下朝美パストガバナー、永山紘子パストガバナー(ソロプチミスト日本財団理事)をお迎えし、実りあるお話を頂きました。『お楽しみ会』を2回開催し、新入会員を3名迎えることができました。

女性と女児のための チャリティー事業 LEGEND レジェンド コンサート AGAIN！

今年度のチャリティー事業は、昨年度の「ふるさと訪ねてコンサート」の大好評を受け、5人の男性オペラユニット「レジェンド」を再び熊本に招いて開催しました。今回の公演を心待ちにしていたリピーターも多く、熊本県立劇場コンサートホールを約1200名が埋め尽くしました。伴奏を担当する「ピアノの貴公子」が二人に増えて、イタリアオペラから日本の歌曲、オリジナル曲と幅広いジャンルの歌唱と演奏は更に進化を見せ観客を魅了しました。コンサート終了後にレジェンドの皆さんが「素晴らしい会場でした。県立劇場で歌えたことに感謝します」と称えてくださったことも大きな喜びでした。チャリティーコンサートの益金は、SI熊本「夢を生きる就学援助」として熊本市内の女子高校生の進学支援金に充てられます。

コンサートの4日後に熊本を襲った地震により、県立劇場も被災し長期にわたる休館を余儀なくされました。意気消沈する私達に届いたのは、「熊本の復興のためにコンサート会場で募金活動をしています」とのレジェンドからのお知らせでした！ 6月16日、アクロス福岡で行われたコンサートにて募金の贈呈式を執り行って頂きました。レジェンドを通じて全国の皆様から頂戴したお金は、地震の被災者支援の資金として大切に遣わせていただきます。

と　き	平成28年4月10日（日） 開演14：00
ところ	熊本県立劇場コンサートホール
チケット代	自由席3,000円　指定席5,000円

福岡での贈呈式

ぐる～ぷ・ゆるり熊本 ソロプチミスト日本財団から活動資金援助！

平成27年　年次贈呈式　11月11日
サンメッセ香川(出席者14名)

香川県高松市で開催されたソロプチミスト日本財団年次贈呈式に於いて、当クラブより推薦のぐる～ぷ・ゆるり熊本（代表　寺崎和美様）が、活動資金援助（賞金50万円）を授与されました。ぐる～ぷ・ゆるり熊本は、DV被害者の親子支援プログラムの実践、支援者養成講座の開催、デートDVの予防など、DV被害に対する理解を深め支援の輪を拡げる様々な活動を行っています。

「お楽しみ会Ⅰ、Ⅱ」

クリスマスリース作り、春のおれんじ食堂enjoyツアー

新入会員勧誘と会員の親睦を兼ねた『お楽しみ会』を2回開催いたしました。

11月30日、会員のご家族に講師をお願いしてクリスマスリース講習会を行いました。18名が参加し、和気あいあいと賑やかにリース作りに取り組み楽しいひと時を過ごしました。3月26日、桜の季節には「おれんじ食堂」ツアーに20名が参加しました。肥薩おれんじ鉄道の車中で美味しい食事を頂きながら、駅では降車して地元の特産品の買物や沿線の景色を堪能しました。のんびりと食と車窓とおしゃべりを楽しみながら春を満喫し、会員相互の親睦をさらに深めることができました。嬉しいことに、今期は3名の新入会員を迎え、南リジョンより3メンバーズピンを受賞しました。

広報委員会

今期は、ホームページをリニューアルしました。レジェンドコンサートの広報や報道機関への取材依頼、イベントや贈呈式の写真撮影、アートコンテストの募集・展示、クラブ広報誌の作成などを行いました。

規約決議・SOLT委員会

国際ソロプチミスト及びアメリカ連盟の規約改正に伴い、新クラブ細則に取り組む1年でした。新版Laws、SOLT MANUALを基に、ミニSOLTや新入会員のオリエンテーションなど、会員の意識向上に努めました。

ソロプチミスト日本財団委員会

「ぐる～ぷ・ゆるり熊本」がソロプチミスト日本財団の平成27年活動資金援助50万円を獲得しました。平成28年は在熊の外国人女性の援助団体「コムスタカ-外国人と共に生きる会」と、障害を持ちながら夢を実現している女性を「ドリーム賞」に推薦しました。

タイ・アユタヤワットサーケオ養護施設支援

SI熊本は、毎年ボランティアでタイを訪れる中田 裕子さんへ支援金を託しています。

中田 裕子さんの報告

今年も9月にタイのワットサーケオ養護施設女子寮へ行ってまいりました。進学率の上昇に伴い入寮希望者も増え、幼稚園生から高校生まで総勢602名という大所帯になっていました。寮の先生が2名増えて、子ども達の様子が昨年より落ち着いたように感じられました。

この数年トイレや水回りの掃除が行き届かないことが気になっていましたが、今年は増えた支援金のおかげで部屋ごとに掃除用具と時計を備えることができました。また、シャンプーや石鹸も全員分購入し、直接子ども達に配ることができました。先生方も大変喜ばれ、皆様にくれぐれもよろしくとのことでした。厚くお礼申し上げます。

平成27年10月20日　中田　裕子

再春荘重症心身障害児(者)病棟
つくし病棟訪問奉仕

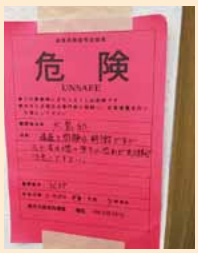
SI熊本では毎月第1火曜日に訪問奉仕を行っています。

H28年3月18日、ボランティア感謝の集いに出席しました。37年にわたる当クラブの活動への感謝状と手作りカレンダーを頂き、また、他のボランティアの方々の活動を知る機会にもなり、有意義な時間を過ごしました。

平成28年熊本地震　被災後1ヶ月会員アンケート　まさか私が被災者に!?

平成28年4月14日と16日、熊本は2度にわたって震度7レベルの地震に襲われました。幸い当クラブの会員は全員無事でしたが、ほとんどの会員が被災し、4月の例会も中止となりました。

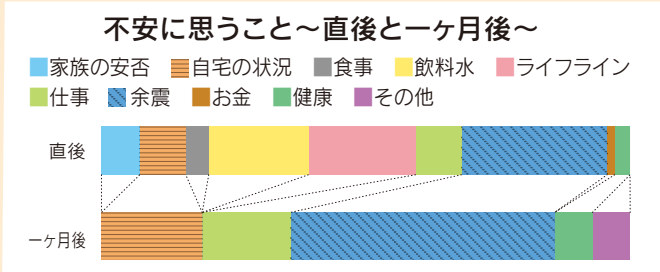
5月の例会には42名中34名が出席し、その場で出席者に緊急アンケートを行いました。



前震は南リジョン大会初日の夜だったため、福岡で体験した会員が最も多く、58%を占めました。即時の会長判断で翌早朝にホテルを後にして熊本へ戻り、その深夜の本震は85%が自宅で体験しました。自宅が半壊した会員が2名、一部損壊した会員が10名、家財については88%もの会員が被害を受けました。また、事業所の被災は23名、70%に上り、就業継続が困難との回答も1名ありました。避難所へ避難した会員は7名、車中泊を経験した会員が4名いましたが、1ヶ月後にはほぼ全員が新居や親戚宅を含め家に戻っていました。

地震直後の不安は1番が余震、2番がライフライン、3番が飲料水でした。徐々に復旧が進み、1ヶ月後の不安は1番が余震、2番が自宅の状態、3番が職場と変わってきています。今回の熊本地震の特徴は立て続けに2回の大きな揺れが起きたこと、1ヶ月で1400回以上という余震の多さ、震源地を移動しながら未だに震度3から4の余震があることが挙げられ、余震への不安は直後よりも増しています。

自由記載では、「今まで永年ボランティア活動をしてきたが、自分が被災者になるとは思わなかった」「温かい言葉や行動に救われた」「支援は物やお金だけでなく、心が寄り添うことだと実感した」「被災した女性や女児に対し、今後どのような形で支援するべきか考えさせられた」など、ソロプチミストとしての前向きな意見が多数寄せられました。



こんな方たちを探しています

詳しくはホームページをご覧ください

国際ソロプチミストアメリカ連盟・日本南リジョン賞
- ●ソロプチミスト夢を生きる賞

クラブ賞
- ●女性栄誉賞

ソロプチミスト日本財団賞
- ●社会貢献賞
- ●社会ボランティア賞
- ●学生ボランティア賞
- ●ソロプチミスト日本財団 女性研究者賞
- ●ソロプチミスト日本財団 ドリーム賞
- ●ソロプチミスト日本財団 活動資金援助

お疲れ様でした。(2015年7月～2016年6月)

●理事会
- 会長：牧野　智子
- 会長エレクト：牛島　紀子
- 副会長：牧　和美
- R・セクレタリー：宮岡由香里
- C・セクレタリー：高野　文
- トレジャラー：西岡東綺子
- A・トレジャラー：絹原　美佳
- 理事(1年)：白瀬貴美子
- 理事(2年)：井上真智子

●委員長
- 奉仕プログラム：硯川和歌子
- 財務・資金調達：清永　和子
- メンバーシップ：金井　朋子
- 広報：塚本　敬子
- 規約決議・SOLT：梅崎　勝子
- ソロプチミスト日本財団：武藤　徳子

よろしくお願いいたします。(2016年7月～2017年6月)

●理事会
- 会長：牛島　紀子
- 会長エレクト：牧　和美
- 副会長：清永　和子
- R・セクレタリー：高橋　享子
- C・セクレタリー：宮岡由香里
- トレジャラー：絹原　美佳
- A・トレジャラー：塚本　敬子
- 理事(1年)：井上真智子
- 理事(2年)：越山　聆子

●委員長
- 奉仕プログラム：牧野　智子
- 財務・資金調達：西岡東綺子
- メンバーシップ：高野　文
- 広報：硯川和歌子
- 規約決議・SOLT：森﨑　真美
- ソロプチミスト日本財団：吉安美知子

定例会合：毎月第3火曜日 10:00～13:00　**会場**：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

発行日：2016年6月30日